診断テスト［B］

中2／直ったか 確かめる 20問／目標 20分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・次の20問を解いて、答えを □ に書く。計算は別の紙でする。わからなければとばす。
・確率は 約分した 分数で 書く。場合の数は 数だけ 書く（「通り」は 書かない）。
・①②は 正しい 答えを ○ でかこむ。
・さいころは 大・小を、硬貨・くじ・玉・カードは 1つ1つを 区別した どれも 同じ 出やすさと する。

① コイン1枚を 投げて 表が 出る 確率は $\frac{1}{2}$ です。
10回 投げたとき、表が 出る 回数は？

5回とは 限らない　　必ず 5回

② 当たり 2本・はずれ 8本の くじを
1本 引く。当たる 確率は どれ？

$\frac{1}{2}$　　$\frac{1}{4}$　　$\frac{1}{5}$

③ 1, 2, 3, 4の カード4枚から
2枚を ならべて 2けたの
整数を つくる。何通り？

④ 0, 1, 2, 3の カード4枚から
2枚を ならべて 2けたの
整数を つくる。何通り？

⑤ A, B, C, D, Eの 5人から
代表2人を えらぶ。
えらび方は 何通り？

⑥ A, B, C, D, Eの 5人から
委員長と 副委員長を
1人ずつ えらぶ。
えらび方は 何通り？

⑦ さいころ1個を 投げる。
6の約数の目が 出る 確率

⑧ 1～50の カード50枚から
1枚ひく。4の倍数でも あり
10の倍数でも ある カードが
出る 確率

⑨ 赤玉4個、白玉6個の 入った
袋から 玉を 1個 取り出す。
赤玉が 出る 確率

⑩ 10円・50円・100円の 硬貨を
1枚ずつ 同時に 投げる。
表が出た 硬貨の 合計が
100円以上に なる 確率

⑪ 大小2個の さいころを 投げる。
目の和が 8に なる 確率

⑫ 大小2個の さいころを 投げる。
目の積が 偶数に なる 確率

⑬ 大小2個の さいころを 投げる。
小の目が 大の目の 約数で、
大の目が 偶数に なる 確率

⑭ 6本中 2本が 当たりの くじを
A, Bの順に 1本ずつ 引く。
引いたくじは もどさない。
2人とも 当たる 確率

⑮ 4本中 2本が 当たりの くじを
A, Bの順に 1本ずつ 引く。
引いたくじは もとに もどす。
2人とも 当たる 確率

⑯ 6本中 2本が 当たりの くじを
A, Bの順に 1本ずつ 引く
（もどさない）。
Bが 当たる 確率

⑰ 赤玉3個、白玉2個の 袋から
玉を 同時に 2個 取り出す。
2個とも 赤玉の 確率

⑱ 大小2個の さいころを 投げる。
目の和が 5に ならない
確率

⑲ 赤玉4個、白玉2個の 袋から
玉を 同時に 2個 取り出す。
少なくとも 1個は 赤玉の
確率

⑳ 大小2個の さいころを 投げる。
少なくとも 1個は 5以上の
目が 出る 確率

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「確率」のプリント一覧がひらきます

診断テスト［B］【こたえ】

中2／直ったか 確かめる 20問／目標 20分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

問	正答	×のときの誤答	つまずき	やるところ（記事の小単元）
①	5回とは 限らない	必ず 5回	「2回に1回必ず」と読む	①確率の意味
②	$\frac{1}{5}$	$\frac{1}{2}$ ／ $\frac{1}{4}$	当たり・はずれの2通り	②同様に確からしい
③	12	16	同じカードを2回使う	③並べてできる数
④	9	12	先頭の0	③並べてできる数
⑤	10	20	選ぶのに順番を区別	④並べ方と選び方
⑥	20	10	役割の 順番を 区別しない	④並べ方と選び方
⑦	$\frac{2}{3}$	$\frac{1}{6}$	約数の 数え漏れ	⑤条件に合う数を数える
⑧	$\frac{1}{25}$	$\frac{17}{50}$	「でも」を「または」と読む	⑤条件に合う数を数える
⑨	$\frac{2}{5}$	$\frac{2}{3}$	分母に 他方の個数を 置く	⑥分母は全部の数
⑩	$\frac{1}{2}$	$\frac{3}{8}$	ちょうどを 数え落とす	⑦硬貨
⑪	$\frac{5}{36}$	$\frac{1}{11}$	和の種類(11通り)で 数える	⑧さいころ2個の表
⑫	$\frac{3}{4}$	$\frac{1}{2}$	積の偶奇を半々	⑨さいころ2個の条件
⑬	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{6}$	同じ目の 組を 落とす	⑨さいころ2個の条件
⑭	$\frac{1}{15}$	$\frac{1}{9}$	戻さないのに 減らさない	⑩くじ（戻す・戻さない）
⑮	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{6}$	戻すのに 減らす	⑩くじ（戻す・戻さない）
⑯	$\frac{1}{3}$	$\frac{1}{5}$	後に引くと不利	⑪くじの順番と「1本だけ」
⑰	$\frac{3}{10}$	$\frac{3}{20}$	分母と分子で 数え方が ちがう	⑫玉を同時に2個
⑱	$\frac{8}{9}$	$\frac{1}{9}$	1から引き忘れ	⑬起こらない確率
⑲	$\frac{14}{15}$	$\frac{3}{5}$	反対の 事柄を とりちがえる	⑭少なくとも
⑳	$\frac{5}{9}$	$\frac{2}{3}$	確率のたし算	⑭少なくとも

×が ついた 問を 小単元ごとに 数える。×が 多い 小単元から、同じ数なら 上の 行から やる

①確率の意味	①	×（　）／1	**⑧さいころ2個の表**	⑪	×（　）／1
②同様に確からしい	②	×（　）／1	**⑨さいころ2個の条件**	⑫⑬	×（　）／2
③並べてできる数	③④	×（　）／2	**⑩くじ（戻す・戻さない）**	⑭⑮	×（　）／2
④並べ方と選び方	⑤⑥	×（　）／2	**⑪くじの順番と「1本だけ」**	⑯	×（　）／1
⑤条件に合う数を数える	⑦⑧	×（　）／2	**⑫玉を同時に2個**	⑰	×（　）／1
⑥分母は全部の数	⑨	×（　）／1	**⑬起こらない確率**	⑱	×（　）／1
⑦硬貨	⑩	×（　）／1	**⑭少なくとも**	⑲⑳	×（　）／2

①は 確率 1/2 は 多数回くり返したときの 割合で、10回で 必ず5回では ない。②は 当たり・はずれの 2通りでも 起こりやすさは 同じでない（2/10＝1/5）。

③は 十の位 4通り×一の位 3通り＝12。④は 十の位に 0 は 置けない 3×3＝9。⑤は 組を 区別しない 20÷2＝10。⑥は 役が ちがうので 20。

⑦は 6の約数は 1・2・3・6の 4つで 4/6＝2/3。⑧は 20の倍数が 20と40の 2つで 2/50＝1/25。⑨は 全部で 10個 だから 分母は 10（4:6 ではない）。

⑩は 全部で 2×2×2＝8通り。100円が 表なら 4通りで 4/8＝1/2（ちょうど 100円も 入る）。⑪は 5/36、⑫は 積が 奇数の 9通りを 引いて 27/36＝3/4、⑬は 大＝2・4・6 の とき 小は 2通り・3通り・4通りで 9/36＝1/4（同じ目も 入る）。

⑭は 6×5＝30通りの うち 2×1＝2通りで 1/15。⑮は 4×4＝16通りの うち 2×2＝4通りで 1/4。⑯は Aと同じ 2/6＝1/3。⑰は 10通りの うち 赤赤は 3通りで 3/10。

⑱は 和が 5は 4通りだから 1−4/36＝8/9。⑲は 反対の 事柄「2個とも 白」(1通り)から 1−1/15＝14/15。⑳は 4以下だけが 出る 16通りから 1−16/36＝5/9。

丸つけ　確率は 約分した 分数が ○（6/36 は ×）。0.5 や 50% の 形は ×。①②は ○を つけた 方で 見る。「通り」を 書いても ○。

声かけの 例　数え方 →「並べる？ 選ぶだけ？」　確率 →「全部で 何通り？ どれも 同じ 起こりやすさ？」　少なくとも →「反対の 事柄は なに？」

いちごドリル プリント